

1 はじめに

本校では、生徒が主体となり学校行事や様々な活動に積極的に取り組んでいる。今年度より、各学年を3つに分けた縦割り団の活動を新たに実施した。また、生徒会本部役員や各委員会が自主的な活動を行っている。その内容を以下に掲載する。

2 資料

(1) 縦割り団の実施（資料1、資料2）

本校は前年度より全学年が単学級となり、人間関係が固定化し、特定の友人関係やグループが形成されるという課題が生じた。この課題を解決するために、今年度は、1学期の体育祭と2学期の文化祭の合唱コンクールを縦割り団で実施した。団ごとの団長や副団長を中心に目標達成に向けて協力し活動することを通して、学級だけでなく、学年の枠を超えた団としての所属感が生まれた。

(2) 生徒会本部役員や各委員会活動の充実

ア 生徒会本部役員の活動内容の充実（資料3）

昨年に引き続きペットボトルキャップ回収を行っている。生徒会本部役員が実施時期や方法を考え、ポスター作成や呼びかけ等を行った。回収したペットボトルキャップは、協力を依頼したカスミ大沼店まで運び、SDGsや社会貢献について考えるきっかけとなった。12月に生徒会本部役員が各委員長を招集し、開催した中央委員会では、委員会の活動内容を整理し、委員会ごとに生徒が主体的に活動できる取り組みについて考えるきっかけとなった。

イ 各委員会の活動内容の充実（資料4）

本校には6つの委員会がある。その中で自主的に企画を考え、実践した内容が顕著であった体育委員を紹介する。体育委員の中で体力テストの結果で低かった項目に着目し、その項目を改善する取り組みとして、昼休みに運動習慣を作るためのエクササイズを実施した。参加者は有志を募り、全校生徒の3分の2が積極的に参加した。企画した体育委員や参加した生徒からも、「またやりたい。」や「楽しかった。」という声があり、有意義な時間となった。



資料1 体育祭に向けた縦割り団のミーティング



資料2 合唱コンクールに向けた縦割り団の練習



資料3 ペットボトルキャップ回収ボランティア



資料4 体育委員主催の企画

3 成果と課題

今年度から実施した縦割り団の活動は、異学年交流の機会となり生徒の新しい人間関係の構築、集団活動の活性化につながった。また、生徒会本部役員や各委員会の充実では、活動内容が教師主導になってしまうことが多かった。生徒の活動をサポートする時間を増やしたことで、少しずつ自主的に行動できる生徒が増えてきた。そのため、生徒の自主性を尊重し、次年度も実践テーマに即した生徒の育成を図っていきたい。